
暑い夕陽

White rabbit

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

暑い夕陽

【コード】

N9980P

【作者名】

White rabbit

【あらすじ】

ゆうひ 日課は小説を読む場所探し。

ゆうひちゃんの恋？ 物語にするつもりです^^

わたし

夏の暑い日のただの放課後：
だいたいの人達は皆部活に励んでる。
そんななかわたしは読書するために
涼しいところを探してる。

わたしの日課は読書するために
夏は涼しい場所を
冬は暖かい場所を探すこと。

あ、もうしおくれました
この小説の主人公となります

わたし ゆうひ

長澤有妃

と申します。

有名な妃と書きますが
ゆうめいでもないし
妃でもない
普通の日本の女子高生です。

あ

いまでいう…JKです。

わたしは普通のJKです。

これからよろしくおねがいしますね？

ぐだぐだした紹介は

もうそろそろあきました。

体育館のほつがら騒がしい…

いつものじゅ

この黄色い声援は
いつもと変わらず

…しんせうこ

この黄色い声援はほとんど

いぢ

すべてと言って良いだろう

バスケット部の奴への声援だ。

わたしはこの声援を
聞き流しなら

奴を探した。

あ

いた…！

やつ

人混みのなかから

奴を見つけた

有「うわあ
」

そいつは

りょうた

梅木亮太。

黄色い声援の元はこいつ

バスケット部で

身長はいがいとあるし

ルックスも綺麗

頭は普通だけど

女の子からの声援はすべてこいつにだ

告られた女の子は星の数

(なんかのぱくりだよなこれ)

ちなみにこいつ幼なじみなんです

若干迷惑な幼なじみ

ただ家がお隣りっただけの幼なじみ

汗を拭う姿が光ってみえるらしい……

汗がひかるとかなに?!

またぐだぐだしてるし”

? 「なんだー? 有妃、おまえも亮太を見に来たのか?」

有「ああ、ゆーじか」

声のもとに振り向くと

バスケット部でわたしと同じクラスの
汗だく祐二がたっていた。

祐「なにそんな残念そうな顔すんだよ…失礼な…」

有「ごめん、ごめん、」

すこししょんぼりした侑次
とりあえずかるく謝るわたし

祐「おまえはひま人だな…」

祐「そうです、ひま人です（棒読み）」

面倒だなあっておもいつつ
かわいそうだから返事してやった。（何様？笑）

有「あ…ゆーじの彼女は？」

祐「みすぎはあそこにいる…って」

ものすごい勢いで
バスケットボールが
飛んできた…

有、祐「…なっ…ななになっ」

うち等は目が真ん丸になり
とてもびっくりした

祐「なっ…だれだよ…」

そのボールの主をみると
亮太だった

亮「有妃なにしてんの〜？」

有「ひましてんの」

亮「へへ、ひまって言う口実で俺を見に来たとか?! ^^ わら」

有「あゝ、それはないね」

亮「ちえっ」

すこししょんぼりする亮太を
よそ目に

祐「俺のこと完全むしだな・・・」

有、亮「ああ…忘れてた!」

祐「亮太おまえはあいかわ」
「「「ちよつと祐二つ、亮太っもう休憩終わったよ!」」
「「「ずだな…って…みずきっ」」

この大声の主は…

長崎みずき

バスケット部マネージャーで

祐二の彼女

み「あ有妃っ！」

有「やほ！みずきっ」

み「亮太を見に来たの？^^」

有「だから…なんで…」

そうなるんだよっ！

うち等はただの

幼なじみですから

みんなとして

み「なしたっ」

有「いや…なんでもない」

み「さっ部活部活」

みずきは

祐二をつれて戻って行った

亮「なあ、あと30分くらいで部活終わるからまっててくれない?」

有「え…めんどくさいなあ」

亮「そこをなんとかかつなっ?」

有「はいはい、中庭にいるからきてね?」

亮「おうっ」

亮太は部活に
戻っていった、

|

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9980p/>

暑い夕陽

2011年1月12日23時13分発行